

# P734-1 10代躍動3種目「金」



奈川・相模女大高)は25 男子の笹岡建介(PRO が76・00点で優勝。女子  
・0点で2位。パークは、SHOP BELLS)の四十住(よそすみ)さ

## 池、高難度の技で意地

決勝が行われ、日本勢が3種目を制した。ストリートでは男子の池慧野巨(大阪・第一学院高)が31・1点で金メダルを獲得。女子の伊佐風椰(神

会場全体が地元インド中、確実視された金メダルを意地でつかみとつ



男子ストリートで金メダルを獲得した池慧野巨の演技。パレンバン(共同)

た。思わぬ接戦の末に逆転したスケートボード男子ストリートの池は「取っておかしくない金メダル。ほっとした」と胸をなで下ろした。

45秒間滑って技を見せる「ラン」を2回、持ち技を一つ繰り出す「ベス トトリック」を5回行い、得点が高い3回の合計で争う。腹痛と暑さに苦戦し、いつになく転倒が続いたが、トリックの3回目で見えた。

体の向きを変えて技に入り、横回転しながら手すりに着地して滑り降り

くら(和歌山・伊都中央高)も66・66点で金メダルを獲得した。

▽男子パーク決勝 ①笹岡建介 (PROSHOP BELLS)  
②男子ストリート決勝 ①池慧野巨(大阪・第一学院高)

▽女子パーク決勝 ①四十住さくら(和歌山・伊都中央高) ②伊佐風椰(神奈川・相模女大高)

▽女子ストリート決勝 ①マルグリット・ディアル(ライリビシ) ②伊佐風椰(神奈川・相模女大高)

る高難度の技で、10点満点で8・9点の高得点をマーク。観客の度肝を抜くと4回目でトップに浮上し、首位を守った。

和歌山県出身で、7歳からスケートボードを始めた。新種目に採用された五輪はまだ想像がつかない舞台のようだが、選

手として進化し続けることには人一倍食欲だ。17歳の高校生は、19歳の堀米雄斗ら世界最高峰のプロツアーで活躍する同年代の選手を意識する。「もっと海外遠征に行って、試合に出続けたい」と言葉に強い決意を込めた。